

平成 26 年 7 月 2 日 (水)  
国土交通省関東地方整備局  
国営アルプスあづみの公園事務所  
陸上自衛隊第12旅団

災害時等における国営アルプスあづみの公園の  
占用に関する申し合わせ書の締結について

記者発表資料

関東地方整備局国営アルプスあづみの公園事務所と陸上自衛隊第12旅団は、災害時等の国営公園の占用に関する協定に基づき申し合わせ書を下記により締結します。

記

1. 日 時 : 平成 26 年 7 月 7 日(月) 13:15～
2. 調印式の場所 : 国営アルプスあづみの公園事務所  
〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 149-12
3. 申し合わせ書 :  
【名称】 災害時等における国営アルプスあづみの公園の占用に関する申し合わせ書  
【目的】 災害時等に際し、自衛隊が災害派遣活動の目的で関東地方整備局管内の国営アルプスあづみの公園を使用とする場合について、必要な手続き等をあらかじめ定め、双方が連携することで、迅速かつ適切な災害派遣活動に資することを目的としています。  
【占用対象施設】 国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区、大町・松川地区)  
【締結者】 関東地方整備局 国営アルプスあづみの公園事務所長  
陸上自衛隊 第12旅団長

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会  
長野市政記者クラブ、長野市政記者会、長野県庁会見場  
松本市政記者クラブ、地方新聞記者会、大町市市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 国営アルプスあづみの公園事務所  
工務課長 ありきか 有坂 ひとし 均 電話 0263-83-8671

陸上自衛隊 第12旅団  
防衛班 防衛幹部 あんど 安土 けんじ 健二 電話 0279-54-2011

## 補足説明資料

国営アルプスあづみの公園事務所と陸上自衛隊第12旅団は、首都直下地震等の大規模災害の発生に際して、双方が連携・協力することにより、迅速かつ円滑な自衛隊の災害派遣活動を推進します。

### ◎申し合わせによる効果

自衛隊が災害派遣目的で国営アルプスあづみの公園を使用するための手続きの詳細や使用方法などについて予め準備しておくことで、災害時における国営公園の有効活用と迅速かつ適切な災害派遣活動が期待できます。

・使用イメージは以下のとおり

#### <堀金・穂高地区>

- ガイドセンター、あづみの学校、ガイドセンター、展望テラス、水辺の休憩所、野の休憩所、穂高口
  - ・宿営を伴う部隊の宿営場所、トイレ及び水道の使用、電気の供給
- 段々原っぱ、見晴らしの丘、円形ステージ
  - ・宿営を伴う部隊が既存の建物に収容できない場合の露营地
- 第1・第2・第3・第4駐車場
  - ・車両駐車地域、車両整備、給油、補給活動地域等
- 管理用道路
  - ・車両移動
- 段々原っぱ
  - ・ヘリポート、物資の集積及び積載

#### <大町・松川地区>

- レンタル棟、休憩棟、森の体験舎、森のゲート、大草原の家
  - ・宿営を伴う部隊の宿営場所、トイレ及び水道の使用、電気の供給
- キャンプ場、アルプス大草原
  - ・宿営を伴う部隊が既存の建物に収容できない場合の露营地
- 駐車場、臨時駐車場
  - ・車両駐車地域、車両整備、給油、補給活動地域等
- 管理用通路
  - ・車両移動
- アルプス大草原
  - ・ヘリポート、物資の集積及び積載

### ◎協定書対象公園

関東地方整備局では5箇所の国営公園を整備、管理しています。



- ・国営常陸海浜公園  
(茨城県ひたちなか市)
- ・国営武蔵丘陵森林公園  
(埼玉県比企郡滑川町、熊谷市)
- ・国営昭和記念公園  
(東京都立川市、昭島市)
- ・国営東京臨海広域防災公園  
(東京都江東区)
- ・国営アルプスあづみの公園  
(長野県安曇野市、大町市、北安曇郡松川村)

大規模災害により通常の公園利用が停止しているときや公園利用者の安全が確保できるとき、自衛隊の災害派遣活動の場としてできるだけ国営常陸海浜公園が活用されるよう、連携・協力を行います。

## ◎災害時の国営公園の活用



国営公園等のオープンスペースは、自衛隊の災害派遣部隊等が活動するための現地の指揮所や宿泊、駐車、ヘリポート、資材の集積などのための拠点として活用されます。

特に、首都直下地震等の大規模な災害の場合には、全国から多くの部隊等が被災地に派遣されるため、広い面積を有し、平坦な場所が整備された国営公園の活用は有効です。

新潟県中越地震時における陸自部隊活動拠点の展開状況(国営越後丘陵公園:新潟県長岡市)



